



取組概要

「サイバーフィジカルシステム」による安全・安心の実現
及び快適な「おもてなし」の実現

社会情勢／社会課題

知識社会・情報化社会及びグローバル化の爆発的に進展する中、我が国においても科学技術をスマート化やシステム化等分野横断的に取り組み、世界に先んじたイノベーションを創出する必要がある

長期ビジョン

新たな価値を提供するための「サイバーフィジカルシステム」プラットフォームの確立
各種センサーによる実世界モニタリングにより取得されたビックデータを用いた「サイバーフィジカルシステム」を確立し、効率的・省エネなまちづくり、人材活用や物流の効率化によるサービス等の品質向上、災害時の安全な避難誘導やテロ対策等により、世界に先んじた社会システム効率化、新産業の創出、安全・安心の確保等を実現する

東京大会での役割

人や物のセンシング、モニタリングから得られた情報について、ネットワーク化・ビックデータ解析を行い、人や物の流動を効率的なものとして、大会において安全・安心を実現するとともに、快適な「おもてなし」を実現する

3つの手段

1

ソーシャルインパクト

科学技術による万全な安全対策および混雑解消と、従来にみられない大会運営サービスの仕組み

2

大会ホスピタリティ

選手、観客、来訪者等、安全・安心は絶対条件。さらに、観客等がストレスもなく、感動するサービスの提供

3

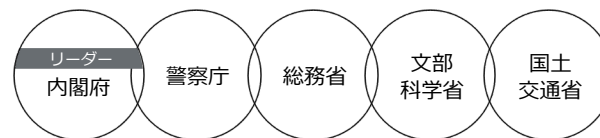
シェアードバリュー

安全・安心なまちづくりや人が流れやすい都市構造等の知見を持って、地域活性、地域のまちづくりに反映

2020年に向けたコンセプト



Big data & Sensing Innovation 2020 移動最適化システム



ビッグデータでヒトの流れをスムーズにし、安全で快適なおもてなしを

大会開催期間中、大会関連施設において、国内企業の技術に基づく下記のシステムが運用された。

- ・サイネージ等により混雑状況が把握できる移動最適化システム
- ・顔認証技術により関係者入場時の本人確認を行うシステム